

単  
元  
名

# みんなで協力してレッツクッキング！

## ～正確な時間と正確な分量で～

令和元年6月13日

本単元で育成する資質・能力

主体性・積極性

## 1 単元について

## 単元観

本単元は、小学校学習指導要領第2, 3, 5学年の「B 量と測定」, の内容に基づき設定した。学習指導要領第2学年には, 以下のように示されている。

B (3) 時間について理解し, それを用いることができるようにする。  
ア 日, 時, 分について知り, それらの関係を理解すること。

学習指導要領第3学年には, 以下のように示されている。

B (3) 時間について理解できるようにする。  
ア 秒について知ること。  
イ 日常生活の中で必要となる時刻や時間をもとめること。

学習指導要領第5学年には, 以下のように示されている。

B (4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について, その比べ方や表し方を理解できるようにする。  
ア 単位量当たりの大きさについて知ること。

本単元は, 自立活動の「クッキングをしよう」の学習と横断的に実施する。2年生と3年生はクッキングのタイムスケジュールを考えることを通して, 時間の加法・減法, 時間の進み方を理解することをねらいとしている。5年生は, クッキングの材料の単位量を考えることを通して, 単位量あたりをもとめる計算のしかたを理解することをねらいとして設定した。

## レディネステスト

2年

**レディネステスト** (各題ごとと時間) 名前 \_\_\_\_\_

1 つぎの 時計は 何時何分を あらわしているでしょうか。□に あてはまる 数を 書きましょう。

① ② □時 □分

③ ④ □時 □分

2 つぎの 時計を あらわしましょう。

① 3時 ② 9時40分

3年

**レディネステスト** (各題ごとと時間) 名前 \_\_\_\_\_

1 次の時計をみてください。

① ② ③ □時 □分

2 時計を見て, 次の問題に答えましょう。

① たかしさんが, 家を出てから 家に帰るまでの時間は, どれ だけでしょうか。 □時 □分

② あやかさんが本を読み始めて から読み終わるまでの時間は, どれ だけでしょうか。 □時 □分

③ 下の時計を見て答えましょう。

④ 時計の時こく □時 □分

⑤ 4時間後の時こく □時 □分

⑥ 2時間前の時こく □時 □分

3 次の□にあてはまる数を書きましょう。

① 1時間 = □分 ② 1日 = □時間

5年

**レディネステスト** (各題ごとと時間) 名前 \_\_\_\_\_

1 次の□にあてはまる数を書きましょう。

①  $5 \times (\quad) = 40$  ②  $(\quad) \times 6 = 42$

③  $80 \times (\quad) = 240$  ④  $(\quad) \times 5 = 450$

2 2つの問題があります。それぞれの問題で求めた答えは, 下の②, ②のどちらの□にあてはまる数を求めたのと同じになるでしょうか。か計算の式の意味を考えて答えましょう。

① 21個のあめを7人で分けました。1人分は何個でしょうか。 ( )

② 21個のあめを7で割った方がよいと思います。何人に分けられる でしょうか。 ( )

③  $7 \times \square = 21$  ④  $\square \times 7 = 21$

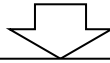
3 ゆみさんは, ある本を1週間で24ページ読みました。1日に 何ページ読んでいたことになるでしょうか。

式  答え

**児童観**

第2学年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがもてないときには、集中できず、自分の好きなことをしてしまう。</li> <li>・見通しがもてた時には、自分から進んで問題に取り組むことができる。</li> <li>・時間を指定してやることを指示すると、意欲をもって取り組むことができる。</li> <li>・8時などのきりのいい時刻は読むことができるが、分を表す目盛りが読むことができない。</li> <li>・3時などのきりのいい時刻を書くことはできるが、9時40分などの細かい時刻を記述することが難しい。</li> </ul>
第2学年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度で指示を聞くことが難しく、2回は指示をすることが必要。</li> <li>・一度集中してしまうと周りが見えなくなるほど没頭する。</li> <li>・おおよその時間の加法なら理解することができる。</li> <li>・8時などのきりのいい時刻は読むことができるが、分を表す目盛りが読むことができない。</li> <li>・3時などのきりのいい時刻を書くことはできるが、9時40分などの細かい時刻を記述することが難しい。</li> </ul>
第2学年 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でやりたいと思ったことは最後までやらないと気が済まないため、作業の時間が過ぎても自分のやり通したいことをしていることがある。</li> <li>・人の話を最後まで聞くことが難しく、わかっていなくても途中で「はい」と返事をする。</li> <li>・おおよその時間の加法なら理解することができる。</li> <li>・時刻を正確に読んだり、記述したりすることができる。</li> <li>・時計の針の動き方を想像して時間の進み方を考えることが難しい。</li> </ul>
第3学年 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・識字能力が著しく低く、自力で問題の意味を理解して解くことが難しい。</li> <li>・人の話を最後まで聞くことが難しく、話の途中で行動することがある。</li> <li>・生活の中で始業時刻や授業開始の時刻など、決められた時間は意識して守ることはできる。</li> <li>・時刻の進み方を正確に把握することができない。</li> <li>・1時間=60分、1日=24時間は理解している。</li> </ul>
第3学年 E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中力が低く、人の話を聞いて行動することが難しい。</li> <li>・集中している時は、黙々と問題に取り組むことができる。</li> <li>・生活の中で始業時刻や授業開始の時刻など、決められた時刻は意識して守ることはできる。</li> <li>・時刻と時間の違いを理解することが難しい。</li> <li>・時計の示す時刻を正確に読むことはできるが、簡単な時間の加法・減法が難しい。</li> </ul>
第5学年 F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を読み、自分で考えることができるが、その考えがあっているか不安になり、教師や友達に助けを求めることが多い。</li> <li>・自分のできるところまでは自信をもって取り組むことができるが、少しでも自分の中で納得がいかないと先に進もうとはしない。</li> <li>・算数の文章問題の中で数量関係を理解して立式することが難しい。</li> <li>・文章題ではない計算や筆算を使った計算をすることはできる。</li> <li>・問題の見通しをもち、答えを出すことが難しい。</li> </ul>
第5学年 G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に対して積極的に取り組もうとするが、自分の考えを形にするまでに時間がかかる。</li> <li>・一度問題を間違えたり、考えていることを指摘されたりすると、深く思い悩んでしまう。</li> <li>・算数の文章問題の中で数量関係を理解して立式することが難しい。</li> <li>・文章題ではない計算や筆算を使った計算をすることはできる。</li> <li>・問題の見通しをもち、答えを出すことが難しい。</li> </ul>

第5学年 H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で他の児童と学習することが難しい。</li> <li>・やらなければいけないことはわかっているが、不安感が先立ち、思うように行動・言動に反映することができない。</li> <li>・基本的な乗法・除法の計算は理解することができている。</li> <li>・算数の文章問題の中で数量関係を理解して立式することが難しい。</li> <li>・不安感の強さからか、途中式を書かず、解だけを記述する傾向にある。</li> </ul>
-----------	--



<p><b>指導観</b></p> <p>児童の課題である既習事項の活用し、主体性・積極性を育成するために、自立活動で取り組む「クッキングをしよう」と算数科「時こくと時間（第2学年）」と「時こくと時間（第3学年）」と「単位量あたりの大きさ（第5学年）」を関連させた単元を設定した。本単元では、問題解決に必要な知識・技能を身に付け、既習事項を活用することができるような力を養いたい。</p> <p>本時の指導にあたっては、今までの学習内容を活用して、身近な課題が解決できるような授業を展開する。まず、児童が安心して学習に取り組むために、学習の見通しをもたせる。次に、問題把握が適切に行わせるために、表などの具体物を提示して視覚化して支援する。さらに、学習の理解を深めるために、話し合いの場を取り入れることを意識しながら学習を展開する。また、2・3年生は同じ学習を取り扱うことで、3年生が2年生の学習をフォローしたり、2年生が3年生の発表の姿を見て学んだりすることで、協働的な学びを促したい。5年生の学習ではクッキングで作るおにぎりの材料といった児童に身近な学習材を用意する。身近な学習材と単位量の計算を結びつけて考えることで、主体的・積極的な学びを促したい。</p>
--

## 2 単元の評価規準

	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
第2学年	○ 時計に関心を持ち、日常生活の中でも、時間と時刻を使い分けようとしている。	○ 長針・短針の回り方と目盛りの関係をとらえ、時間や時刻を調べている。	○ 必要な時間や時刻をもとめることができる。また、単位換算ができる。	○ 時間と時刻の違いを理解している。また、1時間=60分、1日=24時間の関係を理解している。
第3学年	○ 日常生活の中から「秒」を単位として測定する場面を見つけて、実測したり感覚的に時間を計ったりしようとしている。	○ 秒・分・時の関係が60進法にもとづいていることに気づき、具体的な図式を用いて、必要な時刻や時間の求め方を考えている。	○ 時刻や時間を求めたり、ストップウォッチを正しく用いて時間を測定したりすることができる。	○ 時刻と時間の求め方、時間の単位「秒」と、分と秒の関係を理解している。
第5学年	○ 日常の事象を考察するときに平均の考えを用いたり、単位量あたりの考えを用いたりしようとしている。	○ 日常の事象を数理的にとらえるために、平均の考えを用いて考えている。	○ 平均や単位量あたりの大きさを求めることができる。	○ 平均の意味や使い方を理解している。また、異なった条件のものを比較するための単位量あたりの大きさの意味、表し方を理解している。

## 3 第2学年 単元計画（全6時間）

次	学習活動	教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価基準 (評価方法)
---	------	-------------------	----------------------

単元前	<p><b>【自立活動】</b></p> <p>「クッキングをしよう」を計画する。</p>
-----	---

一	<p><b>課題の設定</b></p> <p>料理の時間の見通しをもち、時間の配分が必要なことに気付く。 (自立活動) (1)</p>	<p>今後の活動の見通しをもち、意欲的に計画している。 【関・意・態】(行動観察)</p>	
<p>課題 みんなで協力してレッツクッキング! ~正確な時間で~</p>			
二	<p><b>情報の収集</b></p> <p>長針が何目盛り進んだのかを読み取り、かかった時間を調べる。(1) 長針が1回りするときの短針の動きを調べ、長針の1回りが60分間で1時間であることを具体的な場面で調べる。(2)</p>	<p>長針と短針の動きと、時間の関係を理解している。 【知・理】(行動観察, ノート)</p> <p>定義にしたがって三角形・四角形を作ることができる。 【技能】(行動観察, ノート)</p>	
三	<p>生活場面の時刻を午前・午後をつけて読み、一日は何時間になるか考える。(1)</p> <p>時計の文字盤を見ながら、ある時刻からある時刻までの時間や、ある時刻から何時間後の時刻を求める。(1)</p>	<p>1日=24時間であることが分かり、午前・午後をつけた時刻の表し方を理解している。 【知・理】(行動観察, ノート)</p> <p>長針・短針の回り方と目盛りの関係をとらえ、時間や時刻を調べている。 【考】(行動観察, ノート)</p>	
三	<p><b>実行</b></p> <p>実際の時間をもとにタイムスケジュールを考える。 【本時】(1)</p>	<p>学習したことを生かして、タイムスケジュールを作ることができる。 【技能】(行動観察, ワークシート)</p>	<p>時間の経過を計算し、学んだ時間感覚をもとに調理のタイムスケジュールを考える。 【主体性・積極性】</p>

単元後	<p><b>まとめ・創造・表現・ふりかえり</b></p> <p>【自立活動】 「クッキングをしよう」つくったタイムスケジュールをもとに活動を行う。</p>
-----	--

### 第3学年 単元計画 (全7時間)

次	学習活動	教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価基準 (評価方法)
---	------	-------------------	----------------------

単元前	<p>【自立活動】 「クッキングをしよう」を計画する。</p>
-----	-------------------------------------

一	<p><b>課題の設定</b></p> <p>料理の時間の見通しをもち、時間の配分が必要なことに気付く。 (自立活動) (1)</p>	<p>今後の活動の見通しをもち、意欲的に計画している。 【関・意・態】(行動観察)</p>	
<p>課題 みんなで協力してレッツクッキング! ~正確な時間で~</p>			
二	<p><b>情報の収集</b></p> <p>出発時刻とかかった時間から、到着時刻を求める。(1)</p>	<p>時計や数直線を使って、到着時間やかかった時間を求めることができる。 【考】(行動観察, ノート)</p>	

二	繰り上がりのある時間の計算をする。 (1) 繰り下がりのある時間の計算をする。 (1)		
三	<b>整理・分析</b> 一番長く回っているこまを決める方法をストップウォッチを用いて考える。 (1) 秒を分と秒で表したり、分を秒になおしたりして時間の長さの大小を比べる。 (1) 日の出の時刻の違いを求め、間にある場所の日の出の時間を予測する。 (1)	短い時間を測定する方法を、ほかの量の単位をもとに考えている。 <b>【考】</b> (行動観察, ノート) 分と秒の関係を理解している。 <b>【知・理】</b> (行動観察, ノート) 時間の計算をして、日の出の時刻の違いを求めることができる。 <b>【技】</b> (行動観察, ノート)	
四	<b>実行</b> 実際の時間をもとにタイムスケジュールを考える。 <b>【本時】</b> (1)	学習したことを生かして、タイムスケジュールを作ることができる。 <b>【技能】</b> (行動観察, ワークシート)	時間の経過を計算し、学んだ時間感覚をもとに調理のタイムスケジュールを考える。 <b>【主体性・積極性】</b>

単元後	<b>まとめ・創造・表現・ふりかえり</b> <b>【自立活動】</b> 「クッキングをしよう」つくったタイムスケジュールをもとに活動を行う。
-----	---

### 第5学年 単元計画 (全7時間)

次	学習活動	教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価基準 (評価方法)
---	------	-------------------	----------------------

単元前	<b>【自立活動】</b> 「クッキングをしよう」を計画する。
-----	------------------------------------

一	<b>課題の設定</b> 材料の選び方について見通しをもち、料理を成功させるためには正確な分量を計算する必要があることに気付く。 (自立活動) (1)	今後の活動の見通しをもち、意欲的に計画している。 <b>【関・意・態】</b> (行動観察)	
<b>課題</b> みんなで協力してレッツクッキング! ～正確な分量で～			
二	<b>情報の収集</b> いろいろな事象の平均の混み具合について考える。 (2) 人口密度について知り、比べる。 (2)	2つの量を比べるとき、どちらかの数値をそろえればよいと考えている。 <b>【考え方】</b> (行動観察, ノート) 人口密度を求めることができる。 <b>【技能】</b> (行動観察, ノート)	

三	<b>整理・分析</b> 単位量あたりの大きさを使って、全体の大きさを求める。 (2)	単位量あたりの大きさが何を表しているのか理解している。 <b>【知・理】</b> (ノート)	
四	<b>実行</b> 学習したことをもとに、料理の材料を単位量あたりの大きさと比べる。 <b>【本時】</b> (1)  比べたことをもとに、料理を行う。 (自立活動) (2)	単位量あたりの値段や水の量を考える。 <b>【技能】</b> (行動観察, ノート)	単位量の求め方を用いて、調理に必要な材料の単位量を考えて、比べることができる。 <b>【主体性・積極性】</b>

単元後	<b>まとめ・創造・表現・ふりかえり</b>
	<b>【自立活動】</b> 「クッキングをしよう」選んだ材料をもとに、料理を行う。

#### 4 本時の展開

##### (1) 本時の目標

###### 第2学年

学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。【数量や図形についての技能】

###### 第3学年

学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。【数量や図形についての技能】

###### 第5学年

学習したことを生かして、単位量あたりの値段と水の量について考えることができる。

【数量や図形についての技能】

##### 個の目標

第2学年 A	学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。(算数) 自分勝手な行動をせず、集中して学習できる。(自立)
第2学年 B	学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。(算数) 指示を1回で聞いて活動ができる。(自立)
第2学年 C	学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。(算数) 最後まで指示を聞いて、自分の考えをもつことができる。(自立)
第3学年 D	学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。(算数) 自分の考えを自信をもって発表することができる。(自立)
第3学年 E	学習したことを生かして、タイムスケジュールを考えることができる。(算数) 指示を一度で聞いて、ノートに自分の考えを書くことができる。(自立)
第5学年 F	学習したことを生かして、単位量あたりの値段と水の量について考えることができる。(算数) 自分の考えを明確にし、自分の意見の理由を明確にして発表することができる。(自立)
第5学年 G	学習したことを生かして、単位量あたりの値段と水の量について考えることができる。(算数) 自分の意見や考えを明確にして発表することができる。(自立)
第5学年 H	学習したことを生かして、単位量あたりの値段と水の量について考えることができる。(算数) 学習に参加し、発表することができる。(自立)

## 5 板書計画

第2・3学年

㉞ クッキングの時間を考えよう。

㉞ 時間を計算することで時間の見通しをもつことができる。

【タイムスケジュール】

【式】

30分	15分
-----	-----

10分	10分
-----	-----

10時 + 

45分	20分
-----	-----

 = 11時5分

$30分 + 15分 = 45分$

(作る + 片づける)

$10分 + 10分 = 20分$

(じゅんぴ + 食べる)

$10時 + 65分 = 11時5分$

第5学年

㉞ 一人分の材料の値段と量をもとめよう。

㉞ 表に整理して考えると分かりやすく計算できる。

【どちらが安い (のり)】

- A. 8パック 440円  
B. 12パック 600円

【A】

値段	□	440
パックの数	1	8

【水の量を考える】

教科書P46の図

【水の量】

水の量	120	□
人数	1	4

【考え】

$440 \div 8 = 55$   
 $600 \div 12 = 50$  答えAの方が安い。

【B】

値段	□	600
パックの数	1	12

【考え】

$470 - 150 = 320$      $320 \div 80 = 4$   
 $120 \times 4 = 480$     答. 480g